

講義とワークショップで学ぶ

事業戦略の妥当性を『ROE』の視点で検証する ～ROE向上のためのKPI+ターゲット値の設定～

《開催要領》

- 日 時● 2016年11月 16日(水) 10:00～16:00
- 会 場● 企業研究会セミナールーム(東京:麹町5丁目)

講師 株式会社プロセス・ラボ 代表取締役 松浦 剛志 氏

講師紹介
京都大学経済学部卒。東京銀行審査部にて企業再建を担当。その後グロービス(ビジネス教育、ベンチャー・キャピタル、人材事業)にてグループ全体の管理業務、アントレピア(ベンチャー・キャピタル)にて投資先子会社の業務プロセス設計・モニタリング業務に従事。02年人事、会計、総務を中心とする管理業務のコンサルティングとアウトソースを提供する会社、ウィルミツを創業。06年業務プロセス・コンサルティング機能をウィルミツから分社化し、プロセス・ラボを創業。業務現場、コンサルティング、アウトソースのそれぞれの経験から培った業務プロセスを理解・改善する実践的な手法を開発し研修・コンサルティングを提供している。



《開催にあたって》

ROEによる企業経営の重要さが従来に増して強調されています。経営陣によるROE向上の掛け声を受けて、事業現場でどのように具現化するのかわからない方々を対象としたセミナーです。事業部門の責任者、事業部企画担当者様をはじめ、経営企画部門などの関連部門のご担当者対象として、「ROEとは何か?」の解説からスタートします。ワークショップでは実際に自身の事業の戦略をROEの視点から検証し、さらに、KPIによる経営のコントロールについて考えていきます。(書籍等でBS, PL, CFに関する基礎知識をご理解上でのご参加をお勧めいたします。)

※講師と同業の方はご参加頂けない場合がございます。

《申込書》一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

FAX:03-5215-0951

*申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

*申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

■受講料:1名(税込・昼食代含)

正会員 37,800円(本体価格 35,000円) 一般 41,040円(本体価格 38,000円)

161456-0101(※) 事業戦略の妥当性を『ROE』の視点で検証する			
ふりがな 会社名			
住 所	〒		
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属	職 職	
E-mail			

■参加要領: 申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申込み頂けます。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。([TOP] → [公開セミナー] → [よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F

事業戦略の妥当性を『ROE』の視点で検証する

11/16
(水)

10:00

1. ROEとは何か?

- (1) ROEをROAとの違いから理解する
- (2) ROEの目標値

2. ROEは近似値にすぎない、という前提

- (1) なぜROEなのか?
- (2) 本当にROEでよいのか?
 - ・率であることによる規模感の問題(絶対額への変換)
 - ・将来を内包しない実績偏重の問題(DCFという考え)
 - ・Eの期待値を一律とする問題(WACCという考え)
- (3) ROEで手を打つ・・・という現実

3. 事業サイドからEをリクエストするという考え方

- (1) 全社戦略(事業ポートフォリオ)とは
- (2) ROEの継続的高水準を支援するための自事業の役割
- (3) 財務による全社レベルの調整

4. 自事業の現時点で最適なEをざっくりと求める

- (1) アセットの量と質の推定
- (2) PLのボラティリティにより顕在化する簿外債務の推定
- (3) WACCの適正値を念頭に入れたEの推定
- (4) 妥当なROEの推定から導くRの理想
- (5) 本社経費配賦の推定から現実のRを求める

5. 未来を描く事業戦略の方向性をROEから検証する

- (1) 売上の拡大は、
 - ・Rの率を落とさないか?
 - ・リスクアセット・簿外債務によってEを無駄使いしないか?
 - ・ボラティリティの上昇でEの期待値をあげないか?
- (2) 売上の均衡、縮小は、
 - ・自事業のROEに悪影響を与えないか?
 - ・全社のROEの平均値に悪影響を与えないか?
- (3) 必要なEは将来にわたってどのように推移するか?

6. ROEからスタートする自事業の戦略マップ

- (1) 戦略マップとKPIと目標値
- (2) ROEコントロールにHow?の要素をつなげる
- (3) 財務以外のミッションに広げるSoWhat?の展開
- (4) 業務レベルのHow?にもKPIをあたえる
- (5) KPIに対して目標値を設定する
- (6) 戦略と言う仮説と正しく付き合う方法

※10月28日(金)開催の「仕事のパフォーマンスを定量化する『KPI』の実践的な設定方法」とあわせてご受講頂けると効果的です。(本セミナーのみのご参加でも支障はありません。)

16:00

※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。